

令和3年度事業評価

(第2期かほく市創生総合戦略推進計画 事業成果個票)

令和4年7月19日

第2期かほく市創生総合戦略推進計画 一覧

事業番号		事業名	担当課
1	1-①-1	戦略的な企業誘致の推進	産業振興課
2	1-①-2	かほくで創業するとこんなにいいことがありますよ	産業振興課
3	1-①-3	空き家空き店舗の活用による賑わいの創出	企画振興課
4	1-②-1	がんばる中小企業に対する支援事業	産業振興課
5	1-②-2	地域農産物ブランド化事業	産業振興課
6	1-②-3	担い手育成に関する事業(仮)	産業振興課
7	1-②-4	6次産業化ネットワーク活動事業	産業振興課
8	2-①-1	観光振興による新しい人の流れの創出	産業振興課
9	2-①-2	ふるさと回帰による関係人口の創出	企画振興課
10	2-①-3	ふるさと納税寄附金制度の推進	総務課秘書室
11	2-①-4	企業版ふるさと納税の活用促進	企画振興課
12	2-②-1	移住定住及び定着に向けた経済的な支援	企画振興課
13	2-②-2	シティプロモーションによるPR活動の推進	企画振興課
14	2-②-3	普通財産の分譲化	総務課管財室
15	3-①-1	妊娠から出産・子育てまで切れ目のない経済的な支援	健康福祉課 (子育て支援課、保険医療課)
16	3-①-2	親と子がともに健やかに成長できる環境づくり	子育て支援課
17	3-①-3	幼児教育の環境整備	子育て支援課
18	3-①-4	男女共同参画による調和のとれた子育てと就業環境の整備	生涯学習課(子育て支援課)
19	3-②-1	学力調査の実施と小学校全学年での35人以下学級編制の充実	学校教育課
20	3-②-2	多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業	学校教育課
21	3-②-3	学校を核とした地域活力(地域教育力)向上事業	生涯学習課
22	4-①-1	国土強靱化地域計画の着実な遂行	産業振興課、都市建設課
23	4-①-2	新技術を活用したまちづくりの推進	長寿介護課
24	4-①-3	新技術を活用した行政機能の効率化	情報推進課(財政課)
25	4-①-4	地域公共交通ネットワーク構築事業	企画振興課
26	4-①-5	石川中央都市圏連携事業の推進	企画振興課
27	4-②-1	市民の健康づくりと「健康なまち」づくり基盤の整備	健康福祉課、長寿介護課
28	4-②-2	高齢者の生きがいづくり環境の整備	長寿介護課
29	4-②-3	障害者の暮らしの安全と生きがいづくり	健康福祉課(産業振興課)
30	4-③-1	かほく市総合体育館の整備を核としたスポーツ環境づくり	スポーツ文化課
31	4-③-2	する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出	スポーツ文化課
32	5-①-1	北部交流ゾーンの賑わい創出	産業振興課
33	5-①-2	南部交流ゾーンの広域商業機能や交流機能の集積・強化	企画振興課
34	5-①-3	西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発	生涯学習課(哲学館)
35	5-①-4	石川県立看護大学及び県内大学による地方創生推進事業	企画振興課

担当課 産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

- ① 基本目標 1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする
- ② 基本方針 1. 企業誘致による成長の持続

◇事業内容(PDCAサイクル)

- ③ 事業番号・名 1-①-1 戦略的な企業誘致の推進

- ④ 予算事業名 (PLAN) 商工業振興対策事業 7-1-2 (1-1)

- ⑤ 事業概要 (PLAN) かほく市内において、工場・事業所を新増設した企業や、本社機能を移転する企業に対しての助成を行う。また、かほく市への企業進出ニーズに応えるための事業所用地確保や産業立地に向けた施策を積極的に展開するとともに、企業向けに各種助成制度のPRを行い、市内における安定した雇用の場の創出を図る。

- ⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO)
- 【具体的な取り組み内容】
- ・かほく市内において、工場・事業所を新設又は増設した企業に対する助成を行った。
 - 【交付決定】工場等立地助成金：増設1件（交付額：30,440千円）
 - 【助成認定】工場等立地助成金：増設5件
 - 本社機能移転助成金：移設1件（工場併設型）
 - ・「かほく市サテライトオフィス立地促進補助金」制度を創設した。
 - 【交付要件】市内にサテライトオフィスを新設、投資額1,000万円以上、常時雇用従業員数5人以上 など
 - 【交付金額】限度額1,500万円/件

- ⑦ 基本目標のKPI (PLAN)
- ・企業誘致件数 3件（累計）
 - ・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
企業誘致件数	目標		-	-	-	-	-	3
	実績	-	0	1				1

助成制度活用件数	目標		2	2	2	2	2	10
	実績	-	3	1				4

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	予算	A. 事業費	0	0			0
		うち一財	0	0			0
		B. 管理費(人件費・事務費)	1,964	1,978	2,158		6,100
		うち一財	1,860	1,831	2,018		5,709
		総事業費(A+B)	1,964	1,978	2,158	0	6,100
		うち一財	1,860	1,831	2,018	0	5,709
	決算	一般財源割合(%)	94.7	92.6	93.5	#DIV/0!	93.6
		A. 事業費	112,950	30,440			143,390
		うち一財	112,950	30,440			143,390
		B. 管理費(人件費・事務費)	1,948	1,969			3,917
		うち一財	1,845	1,844			3,689
		総事業費(A+B)	114,898	32,409	0	0	147,307
		うち一財	114,795	32,284	0	0	147,079
		一般財源割合(%)	99.9	99.6	#DIV/0!	#DIV/0!	99.8

- ⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)
- 方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
- 理由 新型コロナウイルスの影響から比較的早く脱却した事業者の積極的な設備投資の動きが見られる。市内における安定した雇用の場創出のため、企業の投資を引き続き支援していく必要がある。
- 対応方針 引き続き情報提供に努め、市内外の企業へ制度を周知し、事業の拡張及び企業誘致を促進する。

- ⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)
- 方針 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
- 意見

担当課 産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針 1. 企業誘致による成長の持続

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 1-①-2 かほくで創業するとこんなにいいことがありますよ

④ 予算事業名 (PLAN) 商工業振興対策事業 7-1-2 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 創業者が事業に順調に滑り出すことができるように、金融機関とも連携を図りながら、利子補給補助や創業準備費補助等の支援を行う。特に若者や女性の起業に対しては、さらなる上乗せ補助を行い、市内の起業者のチャレンジ意欲の向上を図る。

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

○かほく市創業者支援事業補助金

- ・ 指定融資制度の借入利子1%分を2年間助成する。(借入限度額1千万円)
⇒R3年度実績 …23件 624,372円 (※R3申請件数: 13件、365,197円)
- ・ 初期投資額の20%を助成する。(限度額500千円)
⇒R3年度実績 …13件 4,568,000円
- ・ 若者等チャレンジ支援助成を行う。(限度額300千円)
⇒R3年度実績 …13件 3,900,000円

⑦ 基本目標のKPI (PLAN)

- ・ 企業誘致件数 3件 (累計)
- ・ 企業の製造品出荷額を1,320億円とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
補助金利用 件数	目標		6	6	6	6	6	30
	実績	28	9	13				22

	目標							
	実績							

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	A. 事業費	5,396	5,042	5,592			16,030
	うち一財	5,396	5,042	5,592			16,030
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,571	1,582	1,726			4,879
	うち一財	1,489	1,466	1,614			4,569
	総事業費(A+B)	6,967	6,624	7,318	0	0	20,909
	うち一財	6,885	6,508	7,206	0	0	20,599
	一般財源割合(%)	98.8	98.2	98.5	#DIV/0!	#DIV/0!	98.5
決算	A. 事業費	7,168	9,092				16,260
	うち一財	7,168	9,092				16,260
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,558	1,575				3,133
	うち一財	1,475	1,475				2,950
	総事業費(A+B)	8,726	10,667	0	0	0	19,393
	うち一財	8,643	10,567	0	0	0	19,210
	一般財源割合(%)	99.0	99.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.1

⑨ 令和4年度以降 の方針 (CHECK・ACT)	方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	理由	市内での創業者数の増加は、新たな賑わいの創出や将来的な新たな雇用の創出など波及効果が大きいことから、引き続き支援が必要である。
	対応方針	補助制度を継続し、創業者が事業を順調にスタートできるよう支援を行う。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)	方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	意見	

担当課 企画振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針 1. 企業誘致による成長の持続

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 1-①-3 空き家空き店舗の活用による賑わいの創出

④ 予算事業名 (PLAN) 企画調整事業 2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 空き家・空き店舗の活用を促進し、地域の活性化や賑わいの創出を図るため、空き家等に出店する個人や法人に対し物件購入費、設備導入費、物件改装工事費等に要した経費の一部を補助金として交付するとともに、開業時の年齢が45歳未満の方や女性の場合、改装工事を市内建築業者が施工した場合は上乗せを行う。また、市内の賑わい創出に資する情報収集や情報発信について、金融機関をはじめとした民間企業との連携を図るとともに、本補助事業を活用した方のネットワーク構築についても検討する。

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
○空き家空き店舗活用補助金（1件あたり最大3,600千円、補助率2分の1）
・賃借料 上限 300千円 ・物件購入費 上限 1,500千円
・設備導入費 上限 500千円 ・物件改修費 上限 1,000千円 ・広告費 上限 100千円
※その他、市内業者利用による改修費（200千円）や若者・女性へのチャレンジ支援補助（300千円）など別途上乗せあり。
【R3実績】新規創業件数：9件
・飲食店 2件 ・飲食店、飲食料品小売業 2件 ・飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業 3件
・雑貨店 1件 ・エステティック業 1件

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・企業誘致件数 3件（累計）
・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
新規創業数	目標		2	2	2	2	2	10
	実績	—	2	9				11

	目標							
	実績							

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	予算	A. 事業費	3,600	7,200	6,190		16,990
		うち一財	0	200	190		390
		B. 管理費(人件費・事務費)	1,284	1,412	1,761		4,457
		うち一財	1,239	1,356	1,680		4,275
		総事業費(A+B)	4,884	8,612	7,951	0	21,447
		うち一財	1,239	1,556	1,870	0	4,665
	決算	一般財源割合(%)	25.4	18.1	23.5	#DIV/0!	21.8
		A. 事業費	7,467	14,771			22,238
		うち一財	3,867	7,771			11,638
		B. 管理費(人件費・事務費)	1,439	1,411			2,850
		うち一財	1,389	1,372			2,761
		総事業費(A+B)	8,906	16,182	0	0	25,088
		うち一財	5,256	9,143	0	0	14,399
		一般財源割合(%)	59.0	56.5	#DIV/0!	#DIV/0!	57.4

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT) 方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

理由 市内の空き家、空き店舗の解消と新規創業の促進による賑わい創出のため。

対応方針 事業者からのヒアリングや各種統計データを基にニーズを調査し、空き家空き店舗の更なる解消、新規創業による地域活性化を推進する。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT) 方針 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見

担当課 産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針 2. 地場産業の成長の戦略化

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 1-②-1 がんばる中小企業に対する支援事業

④ 予算事業名 (PLAN) 商工業振興対策事業 7-1-2 (1-1) 商工費貸付金・利子補給事業 7-1-2 (2-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 商工業の振興のため、市内の中小企業者へ助成制度を提供する。従来の新製品開発事業や特許権取得・設備投資促進事業への助成に加え、ローカル5G整備などの先進技術導入についても助成対象とするなど、新たな取り組みを創出する。

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】 市内中小企業の安定操業、事業拡大の支援のため、各種助成制度を実施した。
◆R3取組実績
【中小企業設備投資促進助成】 ……4件 423,800円
【見本市等出展事業補助】 ……2件 404,000円
【特産品等開発支援事業補助】 ……2件 1,750,000円
【企業PR活動支援補助】 ……1件 375,000円

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・企業誘致件数 3件(累計)
・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
特産品補助 活用件数	目標		1	1	1	1	1	5
	実績	4	0	2				2

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	1,616	2,879	3,343			7,838
	うち一財	1,616	2,879	3,343			7,838
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,834	1,846	2,014			5,694
	うち一財	1,736	1,710	1,884			5,330
	総事業費(A+B)	3,450	4,725	5,357	0	0	13,532
	うち一財	3,352	4,589	5,227	0	0	13,168
決算	一般財源割合(%)	97.2	97.1	97.6	#DIV/0!	#DIV/0!	97.3
	A. 事業費	524	2,952				3,476
	うち一財	524	2,952				3,476
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,816	1,838				3,654
	うち一財	1,722	1,720				3,442
	総事業費(A+B)	2,340	4,790	0	0	0	7,130
	うち一財	2,246	4,672	0	0	0	6,918
	一般財源割合(%)	96.0	97.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97

⑨ 令和4年度以降
の方針 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	市内中小企業の安定操業、事業拡大の支援のため各種補助制度の継続が必要である。
対応方針	現行の補助制度の継続に加え、アフターコロナや、次世代通信の活用を見据えた事業を展開する企業を支援するための補助制度の新設についても検討を進める。

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課

産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針

2. 地場産業の成長の戦略化

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

1-②-2

地域農産物ブランド化事業

④ 予算事業名
(PLAN)

地域農産物ブランド化推進事業
6-1-3 (15-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

激化する農産物の産地間競争に対応していくために、地域農産物ブランド化事業や、新たな販売・販路の拡大に意欲的に取り組む事業実施者に対して支援を行う。
さらに、ブランド力を活かしたイベント開催や、全国各地のイベントへの参加など、各ブランド品目のPRや観光客の誘客策についても積極的に支援する。

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

かほく市主要農産物6品目(ぶどう・紋平柿・長いも・さつまいも(かほっくり)・すいか・大根)のブランド化を進めるため、各生産組合による生産技術向上や販売促進への取り組みに対して補助を行った。
また、付加価値の向上のため、地域団体商標取得や規格外品を有効に利用するため加工品の開発など、新たな販売の拡大に取り組んだ。
・各品目の初出荷・初競りの取材広報等
・補助金(栽培試験、講習会開催、市場視察、販売用梱包資材デザイン等)を交付(5団体・2,465千円)
・生産組合での加工品の取組:高松ぶどう・高松紋平柿のレトルトカレー制作、かほっくりのペースト化

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・企業誘致件数 3件(累計)
・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
加工品取組 み団体数	目標		4	4	4	4	4	—
	実績	3	3	3				—

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	2,500	7,500	2,950			12,950
	うち一財	2,500	7,500	950			10,950
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,059	4,088	4,171			12,318
	うち一財	3,844	3,785	3,901			11,530
	総事業費(A+B)	6,559	11,588	7,121	0	0	25,268
	うち一財	6,344	11,285	4,851	0	0	22,480
一般財源割合(%)		96.7	97.4	68.1	#DIV/0!	#DIV/0!	89
決算	A. 事業費	2,500	5,765				8,265
	うち一財	2,500	5,765				8,265
	B. 管理費(人件費・事務費)	3,506	4,070				7,576
	うち一財	3,320	3,811				7,131
	総事業費(A+B)	6,006	9,835	0	0	0	15,841
	うち一財	5,820	9,576	0	0	0	15,396
一般財源割合(%)		96.9	97.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.2

⑨ 令和4年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	コロナ禍による経済活動への影響の収束を見据え、新たな社会の動向やニーズの変化に応じた、付加価値の向上にかかる取組について、支援する必要があるため。 例:加工品の開発/氷温冷蔵処理により出荷時期を遅らせ年末年始での販売(紋平柿) / 大規模小売店や大手百貨店と連携した販売など
対応方針	生産組合等と協議の上、新たな方策について、検討・実施を進める。

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針 2. 地場産業の成長の戦略化

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 1-②-3 担い手育成に関する事業(仮)

④ 予算事業名(PLAN) 園芸産地担い手確保事業 6-1-3 (18-1)

⑤ 事業概要(PLAN) かほく市農産物ブランド6品目などの農産物の持続的な発展や、繊維業・鉄工業をはじめとする市の基幹産業の振興を目的に、生産性の向上や産地の継承を促すため、県等の関係機関と連携しながら担い手の確保から育成までの一貫した人材育成の取り組みを行う。

⑥ 令和3年度取組内容(PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
○園芸産地担い手確保事業
・新規就農者等への農業技術取得支援補助、農業機械・施設の購入補助、土地・機械施設の賃料補助
〈機械・施設補助〉3件 622,109円
・就農希望者の栽培技術取得を指導する農家への補助
〈研修受入〉2件 1,231,875円
・就農を目的とした移住者への家賃補助
〈住宅支援〉1件 120,000円

⑦ 基本目標のKPI(PLAN) ・企業誘致件数 3件(累計)
・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
支援対象者からの補助金申請件数	目標		5	5	7	7	7	36
	実績	4	3	6				9

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI及び実績(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	3,915	5,416	4,994			14,325
	うち一財	3,915	5,416	534			9,865
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,713	4,748	4,459			13,920
	うち一財	4,465	4,396	4,170			13,031
	総事業費(A+B)	8,628	10,164	9,453	0	0	28,245
	うち一財	8,380	9,812	4,704	0	0	22,896
一般財源割合(%)		97.1	96.5	49.8	#DIV/0!	#DIV/0!	81.1
決算	A. 事業費	4,536	31,722				36,258
	うち一財	4,536	31,722				36,258
	B. 管理費(人件費・事務費)	2,856	4,726				7,582
	うち一財	2,704	4,426				7,130
	総事業費(A+B)	7,392	36,448	0	0	0	43,840
	うち一財	7,240	36,148	0	0	0	43,388
一般財源割合(%)		97.9	99.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99

⑨ 令和4年度以降の方針(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	新規就農の相談が一定数あることから、着実に希望者の就農に結び付けることができるよう、引き続き支援する必要がある。
対応方針	県、J A 石川かほく等と連携して、新規就農希望者に対する情報提供や各種支援を行う。

⑩ 外部委員会意見(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課

産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針

2. 地場産業の成長の戦略化

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

1-②-4

6次産業化ネットワーク活動事業

④ 予算事業名
(PLAN)

農業振興対策事業
6-1-3 (1-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

多様な事業者等の連携の下で、消費者等のニーズに即した新たな商品の開発、販路の開拓などを行い、特産品などの地域資源の価値を向上させ、消費者等に提供していく6次産業化等を推進する。
また、5G等の情報通信技術やAI、IoT等の未来技術を活用した産業のスマート化などの取り組みを支援する。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO)

担い手支援による後継者育成とあわせ、産業のスマート化など農業の活性化を促し、6次産業化に取り組む農業者等を対象に支援を行えるよう、国県の補助制度などについて情報収集を行った。

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・企業誘致件数 3件(累計)
・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
実施団体数	目標		1	1	1	1	1	1
	実績	0	0	0				

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	0	0	252			252
	うち一財	0	0	252			252
	B. 管理費(人件費・事務費)	0	0	1,151			1,151
	うち一財	0	0	1,076			1,076
	総事業費(A+B)	0	0	1,403	0	0	1,403
	うち一財	0	0	1,328	0	0	1,328
一般財源割合(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	94.7	#DIV/0!	#DIV/0!	94.7
決算	A. 事業費	0	0				0
	うち一財	0	0				0
	B. 管理費(人件費・事務費)	0	0				0
	うち一財	0	0				0
	総事業費(A+B)	0	0	0	0	0	0
	うち一財	0	0	0	0	0	0
一般財源割合(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

⑨ 令和4年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	一部の一次産品については、外注加工による高付加価値化が試みられている(例1)。また、少数ではあるがIoT関連機器の使用に関心を示す生産者(例2)が出てきていることから、情報収集、支援策の検討を継続する必要がある。 (例1:ぶどう、紋平柿、かほくりのペースト 例2:ブドウハウス内温度モニタリングシステム)
対応方針	県やJA石川かほくと連携しながら、先進事例などを検証の上、支援策の検討を推進する。

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課

産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

2. かほく市に新しいひとの流れをつくる

② 基本方針

1. かほく市とのつながりを構築

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

2-①-1

観光振興による新しい人の流れの創出

④ 予算事業名
(PLAN)観光振興対策事業
7-1-3 (1-1)⑤ 事業概要
(PLAN)

本市の地域交流拠点施設である「道の駅高松」を通して、かほく市の観光スポットや地元特産品(市特産ブランド認証品)の魅力を発信するとともに、同施設内のイベント広場を活用し、定期的に活気のあるイベントを開催することで、かほく市の北の玄関口として、さらなる誘客を図る。また、石川県及び県観光連盟、河北郡市観光企画委員会や国内旅行会社と連携して、近隣市町を含めた広域的な旅行商品の企画開発を行うほか、道の駅高松においては、将来的に「地域商社」機能の担い手として、市内の特産品を使ったご当地限定のオリジナル商品の開発販売や販路開拓、地域資源を活かした新たなビジネス事業などの展開を図り、市全体への新しいひとの流れを創出する。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO)

- ・市観光物産協会による独自イベント開催や県内外イベントへの参加。⇒新型コロナウイルスにより一部中止。
- ・北部交流ゾーン振興ビジョンを推進するため、「道の駅高松」を中心とした定期イベント等の実施。⇒「道の駅高松」のみでマルシェ形式による特産物販売会を開催。
- ・河北郡市観光企画委員会による共同広域観光プロモーションの実施。⇒新型コロナウイルスにより中止。
- ・KAHOKU MUSIC FES. 2021開催。⇒新型コロナウイルスにより中止。

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

- ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
- ・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
市内観光 入込客数	目標		640,000	655,000	670,000	685,000	700,000	3,350,000
	実績	635,624	429,500	388,404				

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	2,530	2,440	2,440			7,410
	うち一財	2,530	2,440	2,440			7,410
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,964	1,978	2,158			6,100
	うち一財	1,860	1,831	2,018			5,709
	総事業費(A+B)	4,494	4,418	4,598	0	0	13,510
	うち一財	4,390	4,271	4,458	0	0	13,119
	一般財源割合(%)	97.7	96.7	97	#DIV/0!	#DIV/0!	97.1
決算	A. 事業費	580	976				1,556
	うち一財	580	976				1,556
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,948	1,969				3,917
	うち一財	1,845	1,844				3,689
	総事業費(A+B)	2,528	2,945	0	0	0	5,473
	うち一財	2,425	2,820	0	0	0	5,245
	一般財源割合(%)	95.9	95.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	95.8

⑨ 令和4年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2:継続	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	コロナウイルスの影響は前年度より続いているが、今後は「ウィズコロナ」として感染症対策を実施しつつ、可能な限り以前の規模で観光イベント等を実施し、市内への誘客や市内事業者を支援していく。 北部振興ビジョン実現に向けては、大海かぶら寿司の復興を進めつつ引き続き道の駅高松の地域商社化を目指し、新規取組の実証試験を行っていく。	
対応方針	ウィズコロナ時代に対応した感染症対策を実施した上で、これまで中止してきたイベントを再開しインバウンドも見据えた新たな交流人口の増加を目指す。	

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 企画振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 2. かほく市に新しいひとの流れをつくる

② 基本方針 1. かほく市とのつながりを構築

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 2-①-2 ふるさと回帰による関係人口の創出

④ 予算事業名 (PLAN) 企画調整事業 2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 関東かほく会や石川県立看護大学同窓会など関連団体への支援を行うほか、関係人口を創出するため、かほく市出身の首都圏在住者の集いの開催についても検討を進め、地域活性化のための各種事業に参画してもらう仕組みを構築する。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 関東かほく会との連携を行うほか、同窓会開催支援やかほく市出身者による交流の場の創出に向け、検討を行った。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
助成金利用 団体数	目標		1	2	2	3	3	3
	実績	1	0	0				0

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	200	200	200			600
	うち一財	200	200	200			600
	B. 管理費(人件費・事務費)	791	869	323			1,983
	うち一財	762	835	309			1,906
	総事業費(A+B)	991	1,069	523	0	0	2,583
	うち一財	962	1,035	509	0	0	2,506
一般財源割合(%)		97.1	96.8	97.3	#DIV/0!	#DIV/0!	97
決算	A. 事業費	200	0				200
	うち一財	200	0				200
	B. 管理費(人件費・事務費)	886	670				1,556
	うち一財	855	651				1,506
	総事業費(A+B)	1,086	670	0	0	0	1,756
	うち一財	1,055	651	0	0	0	1,706
一般財源割合(%)		97.1	97.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.2

⑨ 令和4年度以降
の方針 (CHECK・ACT)

方針	3:見直し・検討 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	関係人口創出に向け、同窓会開催支援及び市出身者の集いについて検討したが、新型コロナウイルス感染症が収束していないこともあり、関係人口の概念である「地域と多様に関わる人」の創出が困難であるため。
対応方針	関係人口については創出が困難な状況であるが、関東かほく会との連携は継続実施していく。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 総務課秘書室

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

- ① 基本目標 2. かほく市に新しいひとの流れをつくる
- ② 基本方針 1. かほく市とのつながりを構築

◇事業内容(PDCAサイクル)

- ③ 事業番号・名 2-①-3 ふるさと納税寄附金制度の推進

- ④ 予算事業名 (PLAN) ふるさと納税寄附金事業

- ⑤ 事業概要 (PLAN) かほく市特産品ブランド商品等をふるさと納税ポータルサイトやパンフレットを通じて広く全国へ発信し、かほく市の知名度向上や特産品のPRを図ることで、かほく市への愛着醸成と、自主財源の確保を図る。また、ふるさと納税制度に関して適正な制度運用を図るため、国の通知に沿って返礼品の拡充等を行い、より親しみのある、使いやすい制度を目指す。

- ⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO)
- 【具体的な取り組み内容】
- ・ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」、「ふるなび」、「さとふる」を利用し、インターネットでの申込窓口を広く構えるとともに、マルチペイメント（コンビニ決済等）を活用し、寄附金の決済手段の選択肢を充実させた。
 - ・かほく市特産品ブランド認証制度の認証品など返礼品の種類を拡充するとともに、パンフレットを刷新し、道の駅や各種イベント等で配布することで新規寄附者の獲得を図った。
 - ・リピーター獲得に向け、これまでに寄附をいただいた方へパンフレットを送付した。
 - ・㈱PFUのスキナー「ScanSnap」の機種を返礼品に追加し、更なるラインアップの充実を図った。

- ⑦ 基本目標のKPI (PLAN)
- ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
 - ・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
寄附件数 (件)	目標		1,700	3,000	3,000	3,000	3,000	121,700
	実績	1,658	4,140	4,635				8,775
寄附金額 (千円)	目標		62,500	250,000	250,000	250,000	250,000	1,062,500
	実績	62,168	356,483	371,081				727,564

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	18,188	123,517	142,413			284,118
	うち一財	18,188	123,517	142,413			284,118
	B. 管理費(人件費・事務費)	9,978	11,469	16,132			37,579
	うち一財	9,620	10,999	15,411			36,030
	総事業費(A+B)	28,166	134,986	158,545	0	0	321,697
	うち一財	27,808	134,516	157,824	0	0	320,148
	一般財源割合(%)	98.7	99.7	99.5	#DIV/0!	#DIV/0!	99.5
決算	A. 事業費	150,332	161,763				312,095
	うち一財	150,332	161,763				312,095
	B. 管理費(人件費・事務費)	12,019	11,728				23,747
	うち一財	10,875	11,407				22,282
	総事業費(A+B)	162,351	173,491	0	0	0	335,842
	うち一財	161,207	173,170	0	0	0	334,377
	一般財源割合(%)	99.3	99.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.6

- ⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)
- ⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)
- 方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
- 理由 「ScanSnap」を返礼品に追加し寄附金額が大幅に増加した昨年度と比較し、リピーターの割合が増えたことにより、寄附件数・寄附金額ともに増加した。寄附者に対し、丁寧かつ迅速に対応することで、更なるリピーター確保に努めると同時に、新規寄附者の獲得に向けて引き続き返礼品の魅力を発信する必要がある。
- 対応方針 リピーター確保に向け、効率的な業務改善を行ない、これまで以上に迅速な寄附者対応に努める。新規寄附者の獲得に向けては、令和4年度よりポータルサイト「楽天ふるさと納税」を追加し申込窓口の拡充に努めており、合わせて返礼品の魅力が充分伝わるようポータルサイトの利活用を図っていく。

- ⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)
- 方針
- 意見 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

担当課

企画振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

2. かほく市に新しいひとの流れをつくる

② 基本方針

1. かほく市とのつながりを構築

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

2-①-4 企業版ふるさと納税の活用促進

④ 予算事業名
(PLAN)企画調整事業
2-1-7 (1-1)⑤ 事業概要
(PLAN)

地方創生に資する事業について、企業版ふるさと納税の活用を促進する。
総合戦略推進計画に記載されている事業の実施に係る財源の確保に努めるとともに、企業とのつながりを強化し、まちづくりへの参画を促す。

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

寄附者である企業に、市が取り組む地域課題やかほく市創生に向けた各種施策を認知していただくため、それらを広く効果的に発信するための方策を検討し、令和3年度は以下の事業を実施した。

【令和3年度充当事業】

インスタ映えモニュメント制作事業 C=4,283,400円

寄付企業：(株)ツルガ薬局、(株)柿本商会

寄付金額：2,000千円

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

- ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
- ・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

現況値 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 累計値

寄付企業数	目標		1	1	1	1	1	5
	実績	—	1	2				3

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費		0	0			0
	うち一財		0	0			0
	B. 管理費(人件費・事務費)		434	1,437			1,871
	うち一財		417	1,372			1,789
	総事業費(A+B)	0	434	1,437	0	0	1,871
	うち一財	0	417	1,372	0	0	1,789
決算	一般財源割合(%)	#DIV/0!	96.1	95.5	#DIV/0!	#DIV/0!	95.6
	A. 事業費	0	0				0
	うち一財	0	0				0
	B. 管理費(人件費・事務費)	332	599				931
	うち一財	320	583				903
	総事業費(A+B)	332	599	0	0	0	931
	うち一財	320	583	0	0	0	903
	一般財源割合(%)	96.4	97.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97

⑨ 令和4年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	内閣府へ提出している地域再生計画上、令和6年度までの間に企業版ふるさと納税を活用した事業を継続して行うこととしている。
対応方針	第2期総合戦略推進計画に記載されている地方創生に資する事業への活用を促進するため、大手旅行会社やふるさと納税サイトなどのポータルサイトを活用した効果的な広報を展開していく。

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課

企画振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

2. かほく市に新しいひとの流れをつくる

② 基本方針

2. 子育て世代や若者の呼び込みと定着の推進

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

2-②-1

移住定住及び定着に向けた経済的な支援

④ 予算事業名
(PLAN)定住促進事業
2-1-7 (4-1)⑤ 事業概要
(PLAN)

本市への移住定住を促進し、定住人口の増加を図るため、新婚さん住まい応援事業、U I J ターン住まい補助金、若者マイホーム取得奨励金などの制度を継続して実施するとともに、ニーズや環境の変化に即した制度への見直しを行いながら、より効果的に若者世代の転入の促進と転出の抑制が図られるよう事業を推進する。

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

かほく市への移住・定住及びかほく市からの転出の抑制に向け、以下の施策を継続して実施した。

- ・若者マイホーム取得奨励金 申込件数232件 ※過去最高件数
- ・新婚さん住まい応援事業補助金 申込件数 94件
- ・お試し移住体験事業 ※新型コロナウイルス感染症拡大により受入中止
- ・U I J ターン住まい補助金 申込件数 6件

また、より効果的な制度とするため、必要に応じニーズや環境の変化に即した制度への見直しを行った。

※若者マイホーム取得奨励金 市内在住者の基本額について30万円から50万円に拡充（転出抑制）

※さらに、若者の定住を促進するため、奨学金返還支援制度について検討を進め、令和4年度から受付開始することとなった。

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

- ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
- ・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
社会増減数 (転入者数-転出者数)	目標		150	150	150	150	150	750
	実績	148	207	354				—

--	--	--	--	--	--	--	--	--

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	101,777	108,195	120,078			330,050
	うち一財	56,376	9,195	8,077			73,648
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,350	4,779	4,814			13,943
	うち一財	4,191	4,589	4,594			13,374
	総事業費(A+B)	106,127	112,974	124,892	0	0	343,993
	うち一財	60,567	13,784	12,671	0	0	87,022
決算	一般財源割合(%)	57.1	12.2	10.1	#DIV/0!	#DIV/0!	25.3
	A. 事業費	150,118	205,190				355,308
	うち一財	104,718	106,190				210,908
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,872	4,161				9,033
	うち一財	4,700	4,046				8,746
	総事業費(A+B)	154,990	209,351	0	0	0	364,341
	うち一財	109,418	110,236	0	0	0	219,654
	一般財源割合(%)	70.6	52.7	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	60.3

⑨ 令和4年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	県外からの直接転入世帯を支援するU I J ターン住まい補助金、新婚世帯を支援する新婚さん住まい応援事業、市内の定住を促進する若者マイホーム取得奨励金制度を連動させており、これらの制度を活用し、移住定住した方が多く、社会増に大きく貢献しているため。
対応方針	シティプロモーション事業と連動し、住みよさや子育て環境の充実さをPRし、移住者・定住者の確保に努める。

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 企画振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 2. かほく市に新しいひとの流れをつくる

② 基本方針 2. 子育て世代や若者の呼び込みと定着の推進

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 2-②-2 シティプロモーションによるPR活動の推進

④ 予算事業名 (PLAN) 定住促進事業 2-1-7 (4-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 「子育て支援の充実」と「住宅取得支援」をキーワードに、本市の住み良さをブランディングし、シティプロモーションを行うことで移住・交流を促し、定住人口増加につなげる。
また、本市出身で芸術文化、芸能、スポーツなどの各分野で活躍する方々に本市をPRしてもらうほか、市の事業に参画してもらうことで知名度向上を図るなど、様々な手法でかほく市の住みよさや定住促進施策等の周知を図る。

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
・ 民法テレビやシネアド（映画本編上映前の広告枠）でのCM放映
・ インスタグラム市公式アカウントを活用したPR
・ Youtubeでのバンパー広告（首都圏在住者の若い世代、子育て世代をターゲットにしたPR）
・ ふるさと大使による情報発信

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・ 社会増減数（転入者数-転出者数）を+150人とする
・ 主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
社会増減数 (転入者数-転出者数)	目標		150	150	150	150	150	750
	実績	148	207	354				—

--	--	--	--	--	--	--	--	--

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	予算	A. 事業費	8,011	6,407	4,100		18,518
		うち一財	8,011	6,307	4,100		18,418
		B. 管理費(人件費・事務費)	2,372	2,173	1,976		6,521
		うち一財	2,286	2,085	1,886		6,257
		総事業費(A+B)	10,383	8,580	6,076	0	25,039
		うち一財	10,297	8,392	5,986	0	24,675
	決算	一般財源割合(%)	99.2	97.8	98.5	#DIV/0!	98.5
		A. 事業費	7,195	10,617			17,812
		うち一財	7,195	10,617			17,812
		B. 管理費(人件費・事務費)	2,657	2,292			4,949
		うち一財	2,564	2,229			4,793
		総事業費(A+B)	9,852	12,909	0	0	22,761
		うち一財	9,759	12,846	0	0	22,605
		一般財源割合(%)	99.1	99.5	#DIV/0!	#DIV/0!	99.3

⑨ 令和4年度以降 の方針 (CHECK・ACT)	方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	理由	これまでのプロモーション活動により、住みやすさや子育て環境の良さといったイメージの定着により本市のブランディングには成功したと考えられるが、今後も引き続き、県外在住者には本市の知名度アップ、市外在住者には制度のPR、市内在住者には転出を抑制するためのシビックプライドの醸成を図る必要がある。
	対応方針	ターゲットに合わせたプロモーション手法や体制等を再検討し、新たに策定する「シティプロモーション戦略」にてより効果的なプロモーションを展開する。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)	方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	意見	

担当課 総務課管財室

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 2. かほく市に新しいひとの流れをつくる

② 基本方針 2. 子育て世代や若者の呼び込みと定着の推進

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 2-②-3 普通財産の分譲化

④ 予算事業名 (PLAN) 一般財産管理事業 2-1-5 (3-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 売却可能な市有地について、市民ニーズを把握しながら長期的な宅地分譲化計画を策定することにより、市有財産の有効活用を図るとともに、分譲販売することで移住・定住の促進を図る。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) ・令和3年度開始時点で市営住宅跡地の分譲地は残り2区画(宇気2区画)であった。⇒令和3年度中に2区画(宇気2区画)を売却。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
社会増減数 (転入者数-転出者数)	目標		150	150	150	150	150	750
	実績	148	207	354				—

⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	112,012	109,480	112,892			334,384
	うち一財	80,056	73,267	71,421			224,744
	B. 管理費(人件費・事務費)	20,702	23,794	22,924			67,420
	うち一財	19,958	22,817	21,900			64,675
	総事業費(A+B)	132,714	133,274	135,816	0	0	401,804
	うち一財	100,014	96,084	93,321	0	0	289,419
一般財源割合(%)		75.4	72.1	68.7	#DIV/0!	#DIV/0!	72
決算	A. 事業費	125,460	106,599				232,059
	うち一財	105,206	51,284				156,490
	B. 管理費(人件費・事務費)	24,935	24,523				49,458
	うち一財	22,563	23,851				46,414
	総事業費(A+B)	150,395	131,122	0	0	0	281,517
	うち一財	127,769	75,135	0	0	0	202,904
一般財源割合(%)		85.0	57.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	72.1

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	低廉で良質な住宅用地を提供し、定住促進に資するため。
対応方針	新たに、市営住宅跡地で18区画(高松13区画・外日角5区画)の入札による売却を行う。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 健康福祉課（子育て支援課、保険医療課）

◇かほく市創生総合戦略推進計画（総合戦略）の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 1. 安心して子育てできるサポート体制の充実

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 3-①-1 妊娠から出産・子育てまで切れ目のない経済的な支援

④ 予算事業名 (PLAN) 母子保健事業 4-1-2 (2-1) 不妊不育対策事業 4-1-2 (8-1) 赤ちゃんすくすく応援事業 3-2-1 (11-1) 子ども医療費助成事業 4-1-1 (4-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない経済的な支援を実施し、若い世代が安心して出産から子育てでできる体制の充実を図るため、不妊不育治療費助成や子ども医療費助成などの事業を継続して実施する。

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
【健康福祉課】
・妊産婦健康診査事業…医療機関での妊産婦健診費用及び妊婦の個別歯科健診を助成する。
実績は延べ人数で妊婦3,947人、産婦309人、乳児564人、歯科154人で、40,209千円。
・不妊不育治療費助成事業…一般不妊治療費、不育治療費は前年度と同様に治療にかかったすべての費用について全額を助成。延べ27人、2,501千円、不育治療は延べ2人、218千円、なお、特定不妊治療費については治療費用から県の助成額を除いた費用について全額助成した。申請延べ53人13,176千円。R3年度は新規に将来こどもを望む夫婦が早期に健診を受ける「プレ妊活助成事業」を実施した。実績は16件で430千円。
【子育て支援課】
・赤ちゃんすくすく応援事業…新生児1人につき「かほく市共通商品券」3万円分(1,000円券×30枚)を贈呈。309件、9,270千円
【保険医療課】
・子ども医療費助成…満18歳に達する日が属する年度末までの子どもの医療費について全額助成を行った。
現物給付：127,588千円(54,350件)、償還払い：3,710千円(438件)計 131,298千円

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市における出生数 310人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
出生数	目標		302	304	306	308	310	1,530
	実績	313	272	309				

		目標						
	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	189,175	178,458	178,548			546,181
	うち一財	175,185	165,538	115,987			456,710
	B. 管理費(人件費・事務費)	34,874	36,392	32,898			104,164
	うち一財	32,766	33,218	27,208			93,192
	総事業費(A+B)	224,049	214,850	211,446	0	0	650,345
	うち一財	207,951	198,756	143,195	0	0	549,902
決算	一般財源割合(%)	92.8	92.5	67.7	#DIV/0!	#DIV/0!	84.6
	A. 事業費	180,897	200,905				381,802
	うち一財	168,337	182,722				351,059
	B. 管理費(人件費・事務費)	29,779	34,414				64,193
	うち一財	27,419	27,806				55,225
	総事業費(A+B)	210,676	61,214	0	0	0	445,995
	うち一財	195,756	59,586	0	0	0	406,284
	一般財源割合(%)	92.9	97.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	91.1

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	3:見直し・検討 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	不妊治療についてはR4.4から「一般不妊治療」と体外受精等の「生殖補助医療(いわゆる特定不妊治療)」が保険適用になったが、若い世代が安心して治療が行えるよう支援体制は継続する必要がある。また、多子世帯への支援体制についても充実を図る必要がある。
対応方針	不妊治療については保険適用される治療の自己負担分(3割)と、妊娠確立を高めるため保険診療と併用することができる先進医療(厚労省が認めたものに限る)についても助成することとし、赤ちゃんすくすく応援事業については、第3子以降の給付に加算額を設ける。(第3子2万円、第4子以降7万円)

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 子育て支援課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 1. 安心して子育てできるサポート体制の充実

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 3-①-2 親と子がともに健やかに成長できる環境づくり

④ 予算事業名 (PLAN)	児童手当給付費 3-2-1(3-1)	児童扶養手当給付費 3-2-1(5-1)	母子父子福祉事業 3-2-1(6-1)	子ども・子育て支援事業 3-2-1(7-1)
	地域少子化対策事業 3-2-1(15-1)	こども園一般管理費 3-2-2(2-1)	子育て支援センター事業 3-2-2(26-1)	ファミリーサポートセンター事業 3-2-2(27-1)
	子ども総合センター事業 3-2-2(41-1)	学童保育クラブ一般管理費 3-2-3(1-1)	こども屋内運動施設管理運営費 3-2-2(27-1)	

⑤ 事業概要 (PLAN) 子ども総合センターおひさままでの相談体制の強化を図るとともに、子育てママリフレッシュ事業やペアレンティングプログラム講座を通して、親の成長と子どもの健やかな成長を支援する。また、働きながら安心して子育てができるよう延長保育、一時保育などの保育サービスの充実を図るとともに、こども園の整備、学童保育の環境整備、全天候型屋内運動施設の整備（谷公園リニューアル）等を併せ、子育て環境の充実を図る。

令和3年度

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

・子育てママリフレッシュ事業…子育てママに対し、エステやヨガなどのリフレッシュタイムを提供した。
・ペアレンティングプログラム…石川県立看護大学の母性・小児看護学研究室と連携し、妊娠期から幼児期の母親を対象に、出産により環境が変化する同じ課題を持つ母親同士の交流を図ることで、孤立感から解放されるなど精神的負担軽減を図った。
・「あそびの森かほく」にて、遊びや運動をととした児童のこころとからだの健やかな成長支援策の展開を図った。
・「子ども総合センター（おひさま）」にて、子育てに関する相談・支援業務を実施し、子育て中の家庭への支援を行ったほか、新たに七塚地区に民間子育て支援センター開設支援を行い、子育てママの相談の場の拡充を行った。
・市の子育て世帯が増加する南部地域において、学童保育クラブの受け入れ態勢強化のため、R4年度から宇ノ気南部学童保育クラブ及び外日角第4学童保育クラブを開設する準備を行った。

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・かほく市における出生数 310人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
出生数	目標		302	304	306	308	310	1,530
	実績	313	272	309				

「おひさま」 利用者数	目標		18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	90,000
	実績	18,000	16,438	15,820				

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	1,833,193	1,883,606	2,246,967			5,963,766
	うち一財	744,024	750,801	899,368			2,394,193
	B. 管理費(人件費・事務費)	761,238	748,931	769,164			2,279,333
	うち一財	719,882	708,857	724,959			2,153,698
	総事業費(A+B)	2,594,431	2,632,537	3,016,131	0	0	8,243,099
	うち一財	1,463,906	1,459,658	1,624,327	0	0	4,547,891
決算	一般財源割合(%)	56	55.4	53.9	#DIV/0!	#DIV/0!	55.2
	A. 事業費	1,940,692	2,442,656				4,383,348
	うち一財	773,524	1,046,083				1,819,607
	B. 管理費(人件費・事務費)	611,678	724,267				1,335,945
	うち一財	589,673	697,057				1,286,730
	総事業費(A+B)	2,552,370	3,166,923	0	0	0	5,719,293
	うち一財	1,363,197	1,743,140	0	0	0	3,106,337
	一般財源割合(%)	53.4	55	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	54.3

⑨ 令和4年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	新たに民間子育て支援センターの活用を図るなど、子育て相談などの支援事業や子どもが安心して遊べる環境づくりにおける様々な角度から子育て支援をサポートし、子育て世帯の利便性を高める。 また、天候を問わず子どもが心身を動かし遊ぶことができる環境づくりを目的に整備したあそびの森かほくにおいて、今後も児童の遊びを通じた健康づくりを行っていく。
対応方針	従来の子育て支援センターや子ども総合センターに加え、民間子育て支援センターやあそびの森かほくなど、子育てママの相談・活動の選択肢を広げ、幅広いニーズに対応できる環境を目指す。

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課

子育て支援課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針

1. 安心して子育てできるサポート体制の充実

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

3-①-3 幼児教育の環境整備

④ 予算事業名
(PLAN)こども園一般管理事業
3-2-2(2-1)⑤ 事業概要
(PLAN)

幼児から児童までの健やかな成長を支援するため、遊びや運動を通して体幹や心を鍛え豊かにするプロジェクトを推進するとともに、子どもが確かな学力の基礎を身につけることができるよう、こども園・学校・地域が連携を図りながら、幼児教育環境の充実を図る。

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

- ・ 幼児造形事業
公民の枠を超え、市内全ての0～5歳児の手指の巧緻性や表現力、学びの芽（探索・探求・試行錯誤など考える力）を培った。
- ・ 子ども健やか心身成長プロジェクト
4歳児の運動遊び、5歳児のアクロスプールでの水泳指導を実施し、園児の身体を動かす楽しさを学ぶ機会を提供した。
- ・ 国際理解、多文化共生の推進
国際交流員を認定こども園、子育て支援センター、図書館等へ派遣し国際理解・多文化共生を推進する交流事業を実施した。
（従来は年間2回実施するが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、年1回実施）
- ・ 幼小連携協議会の開催
配慮が必要な子ども等の情報交換や支援方針などの理解を深め、幼児教育と小学校教育の接続について共通理解を図った。

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・ かほく市における出生数 310人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
出生数	目標		302	304	306	308	310	1,530
	実績	313	272	309				
造形事業 満足率	目標		83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	—
	実績	82.4	81.5	96.9				—

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	4,452	3,428	3,392			11,272
	うち一財	4,452	3,428	3,392			11,272
	B. 管理費(人件費・事務費)	26,222	25,826	23,604			75,652
	うち一財	24,797	24,444	22,247			71,488
	総事業費(A+B)	30,674	29,254	26,996	0	0	86,924
	うち一財	29,249	27,872	25,639	0	0	82,760
一般財源割合(%)		95.4	95.3	95	#DIV/0!	#DIV/0!	95.2
決算	A. 事業費	2,702	3,454				6,156
	うち一財	2,702	3,454				6,156
	B. 管理費(人件費・事務費)	21,024	26,129				47,153
	うち一財	20,267	25,148				45,415
	総事業費(A+B)	23,726	29,583	0	0	0	53,309
	うち一財	22,969	28,602	0	0	0	51,571
一般財源割合(%)		96.8	96.7	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.7

⑨ 令和4年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	コロナ禍により、園児の造形作品を展示する機会を再考し、従来のように年に1度の作品展を実施するのではなく、定期的に玄関先で保護者の目に触れる形を採用した。また、従来から実施しているフォトフレームによる動画掲示も併せ、保護者へ児童の造形への取組内容がよく伝わっており、活動の成果を感じていただけるようになってきた。
対応方針	幼児造形事業については、事業趣旨について保護者の理解も浸透してきており、また、各園においても掲示方法の変更などにより保護者へ効果的に伝えるための工夫も深まってきていることをうけ、今後の手法についても更なる検討を行っていく。

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 生涯学習課（子育て支援課）

◇かほく市創生総合戦略推進計画（総合戦略）の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 1. 安心して子育てできるサポート体制の充実

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 3-①-4 男女共同参画による調和のとれた子育てと就業環境の整備

④ 予算事業名 (PLAN) 男女共同参画社会推進事業 10-4-7 (4-1) 地域少子化対策事業 3-2-1 (15-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 出産や子育てを機に離職した女性や、出産後も働きながら子育てしたいという女性の社会進出を支援する。また、働きながら子育てをする育児ママなどすべての人が仕事と家庭生活のバランスがとれる多様な働き方を選択できるよう、労働環境の改善のための企業への働きかけや、就業・創業機会の創出を図る。

⑥ 令和3年度取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
【男女共同参画】
・ 市内連絡会において各課の取組、計画、実績を取りまとめ、市男女共同参画審議会に諮るとともに、啓発活動により男女共同参画社会の実現を推進する。⇒R3年度：R2施策の実施状況報告を審議会に報告し、HPに掲載するほか、市広報紙に啓発記事を4回掲載。苦情処理委員会の案件なし。
【育児応援事業所奨励金】※令和3年度で終了
・ 育児休業を6ヶ月以上取得し、復職後1ヶ月以上継続雇用される市内在住の従業員1人に対し、事業主へ200千円を交付する育児応援事業所奨励金制度を実施。⇒3件、600千円

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・ かほく市における出生数 310人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
出生数	目標		302	304	306	308	310	1,530
	実績	313	272	309				
育児応援事業所奨励金交付件数	目標		2	2	2	2	2	10
	実績	1	6	3				

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	予算	A. 事業費	635	635	235		1,505
		うち一財	635	635	235		1,505
		B. 管理費(人件費・事務費)	8,489	8,247	1,799		18,535
		うち一財	8,058	7,837	1,688		17,583
		総事業費(A+B)	9,124	8,882	2,034	0	20,040
		うち一財	8,693	8,472	1,923	0	19,088
	決算	一般財源割合(%)	95.3	95.4	94.5	#DIV/0!	95.2
		A. 事業費	1,261	704			1,965
		うち一財	1,261	704			1,965
		B. 管理費(人件費・事務費)	7,065	8,927			15,992
		うち一財	6,807	8,619			15,426
		総事業費(A+B)	8,326	9,631	0	0	17,957
		うち一財	8,068	9,323	0	0	17,391
		一般財源割合(%)	96.9	96.8	#DIV/0!	#DIV/0!	96.8

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	3:見直し・検討 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	男女共同参画については、令和2年度に実施された県民意識調査で性別による役割分担意識に解消傾向がみられたが、社会全体で男女平等だと感じている人は約1割にとどまっており、引き続き取り組みを進めることが必要。 なお、育児休業取得については、社会的に広く認知され、企業側での取得についても浸透してきている。
対応方針	男女共同参画については引き続き地道な啓発活動を継続していくこととするが、育児応援事業所奨励金については、これまで国の制度支援が十分でない中小企業向けに市が支援を行ってきたが、今般、国の支援制度も整ってきたことから、市としての導入支援的な役割を終えたと判断し、事業を廃止する。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 学校教育課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 2. きめ細かな学校教育の推進

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 3-②-1 学力調査の実施と小学校全学年での35人以下学級編制の充実

④ 予算事業名 (PLAN) (小学校) 学力向上対策事業 10-2-2 (9-1) (中学校) 学力向上対策事業 10-3-2 (11-1) 小学校総合管理費 10-2-1 (10-1) の一部

⑤ 事業概要 (PLAN) 国、県で実施する学力調査に加え、小学校3年生以上の全学年で学力調査を実施する。また、小学校全学年で35人以下学級編制を行い、きめ細かな学習環境のもと「生きる力」の育成を図る。

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
・ 小学3年生、小学5年生、中学1年生、中学2年生を対象に、国・県の学力調査に合わせ実施。
* 小学3年生 (国語・算数) * 小学5年生 (国語・算数)
* 中学1年生 (国語・数学・理科・社会) * 中学2年生 (国語・数学・理科・社会・英語)
・ 平成27年度から小学校5年と6年において35人以下学級を継続して実施。
※小学校1年から4年までの35人以下学級は国及び県事業として実施。
・ 令和3年度：講師1名採用〔七塚小5年1クラス→2クラス〕

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・ かほく市における出生数 310人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
全国学力・学習状況調査で「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」と回答した学校数	目標(小学校)		6校	6校	6校	6校	6校	—
	実績	4校	—	6校				—
	目標(中学校)		3校	3校	3校	3校	3校	—
	実績	2校	—	3校				—

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	予算	A. 事業費	22,009	22,641	38,661		83,311
		うち一財	22,009	22,641	26,913		71,563
		B. 管理費(人件費・事務費)	16,226	19,012	28,415		63,653
		うち一財	9,231	10,470	15,956		35,657
		総事業費(A+B)	38,235	41,653	67,076	0	146,964
		うち一財	31,240	33,111	42,869	0	107,220
	決算	一般財源割合(%)	81.7	79.5	63.9	#DIV/0!	73
		A. 事業費	56,988	33,219			90,207
		うち一財	54,802	31,448			86,250
		B. 管理費(人件費・事務費)	15,282	18,360			33,642
		うち一財	8,818	10,188			19,006
		総事業費(A+B)	72,270	51,579	0	0	123,849
		うち一財	63,620	41,636	0	0	105,256
		一般財源割合(%)	88.0	80.7	#DIV/0!	#DIV/0!	85

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)	方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	理由	市独自の学力調査を実施することにより、基礎・基本の定着と活学力の向上を図ることができる。また、小学校全学年35人以下学級も実施することにより、一人ひとりをしっかり見取り、個に応じたきめ細やかな指導や支援を行うことで、児童が落ち着いて学習に取り組める環境をつくることできる。
	対応方針	引き続き市独自の学力調査及び小学校全学年での35人以下学級編成を実施できるよう取組む。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)	方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	意見	

担当課 学校教育課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 2. きめ細かな学校教育の推進

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 3-②-2 多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業

④ 予算事業名 (PLAN) 教育センター費 10-1-2 (7-1) (小学校) 特別支援教育支援員配置事業 10-2-2 (11-1) (中学校) 教育相談員配置事業 10-3-2 (8-1) (中学校) 特別支援教育支援員配置事業 10-3-2 (9-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な対応ができるよう、特別支援教育支援員や教育相談員などの必要な人材を配置し、支援の必要な児童生徒や不登校及び不登校傾向の児童生徒の増加に対応する。

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
・ 特別支援教育支援員の配置 (小学校 17名)
・ 不登校児童生徒等の支援として訪問型支援等の教育相談員の配置 (各中学校を拠点に1名配置 計3名)
・ スクールカウンセラー等の小中学校への配置 (県費)、各校2~3回/月
・ 教育支援センター「すまいる」における不登校児童生徒への学校復帰支援 (教育相談員2名配置)
・ 教育相談事業の充実 (臨床心理士等による教育相談の実施)

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・ かほく市における出生数 310人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
学習状況調査で「教員は、特別支援教育について理解し、児童・生徒の特性に応じた指導上の工夫をよく行った」と回答した学校数	目標		5校	7校	8校	9校	9校	—
	実績	4校	—	8校				—

教育センターへの来所相談、訪問相談、電話相談の件数	目標		60件	100件	100件	100件	100件	—
	実績	50件	159件	134件				—

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	予算	A. 事業費	62,945	64,896	65,784		193,625
		うち一財	62,945	64,896	65,784		193,625
		B. 管理費(人件費・事務費)	70,882	77,814	72,165		220,861
		うち一財	40,329	42,852	40,528		123,709
		総事業費(A+B)	133,827	142,710	137,949	0	414,486
		うち一財	103,274	107,748	106,312	0	317,334
	決算	一般財源割合(%)	77.2	75.5	77.1	#DIV/0!	76.6
		A. 事業費	58,445	61,181			119,626
		うち一財	53,045	61,181			114,226
		B. 管理費(人件費・事務費)	66,759	75,149			141,908
		うち一財	38,521	41,698			80,219
		総事業費(A+B)	125,204	136,330	0	0	261,534
		うち一財	91,566	102,879	0	0	194,445
		一般財源割合(%)	73.1	75.5	#DIV/0!	#DIV/0!	74.3

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)	方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	理由	発達障害や不登校など特別な支援が必要な児童生徒は増加傾向にあり、原因も多様化している。学習や社会的自立を支援する特別支援教育支援員や教育相談員等は、個別支援が必要な児童生徒に自己肯定感や自己有用感をもたせるための重要な役割を担っており、今後も組織的、継続的な取り組みや支援の充実が必要である。
	対応方針	学校現場のニーズ把握に努めながら、今後も特別支援教育支援員や教育相談員等の必要な人材配置を行い、引き続き適切な支援を行う。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)	方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	意見	

担当課 生涯学習課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 2. きめ細かな学校教育の推進

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 3-②-3 学校を核とした地域活力（地域教育力）向上事業

④ 予算事業名 (PLAN) 学校を核とした地域力活性化事業 10-4-7 (5-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 地域の将来を担う子どもたちと地域住民が関わる「学校運営や支援」を媒体として、地域の活力・教育力を高め、地域コミュニティの活性化と学校教育の充実を図る。

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
◆学校運営協議会の開催
・市内小中学校全9校が対象。各校に委員8名。年4～5回の協議会を開催。
・中学校区ごとに推進会議を開催。
◆学校コーディネーターの配置
・市内9小中学校に学校コーディネーター1人を配置し、学校地域協働係との定期連絡会及び研修を実施。
・学校コーディネーターの仲介・調整により、学校支援活動を促進。新たな人材発掘を図る。
◆コミュニティ・スクールプラン補助金の交付
・各学校の特色ある事業を実施するための支援として補助金を交付。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市における出生数 310人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
学校評価における肯定的な評価結果の割合	目標		86.0%	87.0%	88.0%	89.0%	90.0%	—
	実績	86.0%	86.0%	77.9%				
学校活動に参加した地域住民の人数	目標		1,300	1,500	1,500	1,500	1,500	—
	実績	1,236	1,614	1,370				

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	予算	A. 事業費	25,505	26,893	25,837		78,235
		うち一財	25,505	26,893	5,837		58,235
		B. 管理費(人件費・事務費)	5,317	5,046	7,029		17,392
		うち一財	5,112	4,863	6,597		16,572
		総事業費(A+B)	30,822	31,939	32,866	0	95,627
		うち一財	30,617	31,756	12,434	0	74,807
	決算	一般財源割合(%)	99.3	99.4	37.8	#DIV/0!	78.2
		A. 事業費	20,714	21,494			42,208
		うち一財	20,714	21,494			42,208
		B. 管理費(人件費・事務費)	5,265	4,941			10,206
		うち一財	5,062	4,811			9,873
		総事業費(A+B)	25,979	26,435	0	0	52,414
		うち一財	25,776	26,305	0	0	52,081
		一般財源割合(%)	99.2	99.5	#DIV/0!	#DIV/0!	99.4

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)	方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	理由	地域住民、企業による学校活動への参画、協力については推進され、児童生徒の体験活動や教職員の負担軽減の面で成果が見られる。今後は地域・家庭による子どもたちとの体験活動を通して、地域の教育力向上に取り組むため。
	対応方針	学校運営協議会員、学校関係者による「コミュニティ・スクール シンポジウム」を実施。社会教育活動を通じた教育力の向上に取り組む。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)	方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	意見	

担当課 産業振興課、都市建設課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 1. 住みよいまちの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 4-①-1 国土強靱化地域計画の着実な遂行

④ 予算事業名 (PLAN) 県営土地改良負担金 6-1-5 (4-1) 道路橋りょう維持管理事業 8-2-2 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 近年多発している大きな災害に備え、令和元年度に策定した「かほく市国土強靱化地域計画」に基づき実施される防災・減災等に資する様々な取り組みを着実に実施し、市民が安全安心に暮らすことができるまちづくりを推進する。

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
【産業振興課】
県営土地改良事業で、以下の工事を施工し、負担額の支払いを実施。
・猿ヶ谷堤の耐震改修工事
・宇ノ気川樋門の改修工事
【都市建設課】
・道整備交付金等を活用し側溝改修・舗装改修工事等をN=34箇所を実施。
・社会資本整備総合交付金、公共施設等適正管理事業債を活用し舗装改修工事等をN=11箇所を実施。
・道路メンテナンス補助金を活用し橋梁の定期点検をN=28橋、橋梁補修工事をN=3橋で実施。
・社会資本整備総合交付金を活用し消雪設備、配管改修工事をN=12箇所を実施。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
国土強靱化地域計画におけるKPI達成率	目標		-	-	-	-	-	75%
	実績	-	-	-				

	目標							
	実績							

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	A. 事業費		325,428	272,318			597,746
	うち一財		48,379	46,119			94,498
	B. 管理費(人件費・事務費)		34,544	32,786			67,330
	うち一財		31,893	30,131			62,024
	総事業費(A+B)	0	359,972	305,104	0	0	665,076
	うち一財	0	80,272	76,250	0	0	156,522
	一般財源割合(%)	#DIV/0!	22.3	25	#DIV/0!	#DIV/0!	23.5
	A. 事業費	29,931	640,787				670,718
	うち一財	1,631	76,158				77,789
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,050	26,323				30,373
	うち一財	3,519	25,456				28,975
	総事業費(A+B)	33,981	667,110	0	0	0	701,091
	うち一財	5,150	101,614	0	0	0	106,764
	一般財源割合(%)	15.2	15.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	15.2

⑨ 令和4年度以降 の方針 (CHECK・ACT)	方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	理由	強靱な行政機能や地域社会を作り上げるため、国土強靱化地域計画に定めた個別事業を進め、道路ネットワークが確保できるよう道路の防災・減災対策を行い災害に強い地域づくりを進める必要がある。
	対応方針	国の交付金等を有効に活用しながら順次必要な対策工事を実施するとともに、県営で実施される農業水利施設の改修事業においては、進捗状況を把握するとともに早期完成を目指し、県に対し事業の推進を促す。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)	方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	意見	

担当課 長寿介護課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 1. 住みよいまちの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 4-①-2 新技術を活用したまちづくりの推進

④ 予算事業名 (PLAN) いきいきシニア活動支援事業 3-1-3 (25-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) AI、IoT、5Gなどの新技術の活用に加え、高齢化社会を見据え民間事業者と連携したキャッシュレスなどの普及促進を図る。

⑥ 令和3年度取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
・ 市民生活の利便性向上に繋がる新技術の活用例などの情報収集を行い、かほく市の実情に応じた効果的なツールや導入方法などを検討するとともに、高齢者向けの普及促進手法についても検討を行った。
・ 民間事業者や金融機関等と連携した先進技術導入事例の紹介などの実施に向け、協力体制を構築した。
・ スマホとパソコン安心教室（スマホ講座・パソコン広場）（計43回 309人参加）

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・ かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
スマホ・パソコン講座参加者数	目標		—	350	400	400	400	—
	実績	—	371	309				

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	4,889	4,992	4,956			14,837
	うち一財	4,889	4,992	4,956			14,837
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,971	1,894	1,477			5,342
	うち一財	1,653	1,533	1,263			4,449
	総事業費(A+B)	6,860	6,886	6,433	0	0	20,179
	うち一財	6,542	6,525	6,219	0	0	19,286
決算	一般財源割合(%)	95.4	94.8	96.7	#DIV/0!	#DIV/0!	95.6
	A. 事業費	2,909	3,267				6,176
	うち一財	2,909	3,267				6,176
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,866	1,873				3,739
	うち一財	1,519	1,556				3,075
	総事業費(A+B)	4,775	5,140	0	0	0	9,915
	うち一財	4,428	4,823	0	0	0	9,251
	一般財源割合(%)	92.7	93.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	93.3

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	長引くコロナ禍でオンライン化が日常化してきており、シニア世代にもIT技術の習得は必要不可欠となっている。シニア世代の生活の質の向上のためにも引き続き支援を行う必要がある。
対応方針	日常化しているキャッシュレス決済やコミュニケーションツール（LINE、ZOOM等）の利用支援に努める。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 情報推進課（財政課）

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 1. 住みよいまちの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 4-①-3 新技術を活用した行政機能の効率化

④ 予算事業名 (PLAN) 行政デジタル化推進事業 2-1-8 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) RPA及びAI等の先進技術導入による定型業務の自動化に取り組み、業務精度や市民サービスを向上させるとともに、働き方改革にも繋げる。
また、市税を始め、各種手数料・使用料などの支払いへのキャッシュレス決済導入を行い、市民及び納税者、施設利用者等の利便性向上を図る。

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
先進技術の導入については、RPAをふるさと納税業務へ新たに導入。また、AI-OCRについても㈱PFUとの共創事業において、乳幼児アンケート業務への導入に係る実証実験を行い、一定の効果が得られたことから令和4年度に実導入を行うこととなった。
キャッシュレス決済の導入については、住民票や税証明などの発行手数料について令和3年5月10日より取扱いを開始。
利用実績は市民生活課、税務課及び各サービスセンターの4箇所で合計1,456件となっている。（※全取扱件数39,338件（取扱割合は全体の約4.1%））

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
業務効率化 時間数	目標		200	200	200	200	200	1,000
	実績	—	213	233				

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	0	3,269	3,198			6,467
	うち一財	0	3,269	3,198			6,467
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,087	1,195	2,823			5,105
	うち一財	1,048	1,147	2,708			4,903
	総事業費(A+B)	1,087	4,464	6,021	0	0	11,572
	うち一財	1,048	4,416	5,906	0	0	11,370
一般財源割合(%)		96.4	98.9	98.1	#DIV/0!	#DIV/0!	98.3
決算	A. 事業費	1,763	3,078				4,841
	うち一財	1,763	3,078				4,841
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,218	7,166				8,384
	うち一財	1,175	6,972				8,147
	総事業費(A+B)	2,981	10,244	0	0	0	13,225
	うち一財	2,938	10,050	0	0	0	12,988
一般財源割合(%)		98.6	98.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.2

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	より一層の市民サービス向上及び業務効率化のため、全庁的なデジタル化の取り組みとして継続実施する必要がある。
対応方針	RPA手法の導入が可能な事務について検討を行うとともに、自走に関する検討を行う。 また、キャッシュレス決済に対し一定の需要が確認できることから、住民のさらなる利便性の向上及び職員の業務効率化を図るため、対応業務の拡大等を含め検討していく。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課

企画振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針

1. 住みよいまちの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

4-①-4

地域公共交通ネットワーク構築事業

④ 予算事業名
(PLAN)企画調整事業
2-1-7 (1-1)⑤ 事業概要
(PLAN)

公営バス（福祉巡回バス、市営バス、スクールバスなど）と民間公共交通（鉄道、バス、タクシーなど）を一体とした効率化及び利便性の向上を図り、市民の移動手段確保はもとより、市内観光施設等へ向けたルート設定や、他市町との相互乗り入れに係る調整など、市全体としての公共交通システムのあり方をM a a Sなどの概念も取り入れ、検討する。

【具体的な取り組み内容】

石川中央都市圏における広域での地域公共交通計画の策定に向けた検討や先進事例の調査などを行った。

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO)

- ・石川中央都市圏交通ネットワーク強化推進協議会会議への参加（①R3.6月、②11月、③R4年2月）
- ・公共交通に関するアンケート実施（中央都市圏全15,000通のうち、かほく市分700通）
- ・金沢市で開催された「カーフリーデー2021」へのかほく市ブース出展
- ・R4.2.15「石川中央都市圏地域公共交通協議会」発足
- ※かほく市選出委員：副市長、女性協議会会長の2名

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

- ・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
運転免許返納者数	目標		130	135	140	145	150	700
	実績	126	156	158				

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	0	0	249			249
	うち一財	0	0	249			249
	B. 管理費(人件費・事務費)	989	1,086	1,904			3,979
	うち一財	953	1,043	1,817			3,813
	総事業費(A+B)	989	1,086	2,153	0	0	4,228
	うち一財	953	1,043	2,066	0	0	4,062
決算	一般財源割合(%)	96.4	96.0	96.0	#DIV/0!	#DIV/0!	96.1
	A. 事業費	0	0				0
	うち一財	0	0				0
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,107	1,552				2,659
	うち一財	1,068	1,509				2,577
	総事業費(A+B)	1,107	1,552	0	0	0	2,659
方針	2:継続	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止					
	理由	石川中央都市圏地域公共交通協議会にて、広域での地域公共交通計画の策定に向け、作業を進めているため。（※令和4年度中に策定完了の予定。）					
令和4年度以降 の方針 (CHECK・ACT)	対応方針	現在石川中央都市圏で策定を進めている広域での地域公共交通計画を基に、本市の地域公共交通に関する課題や今後の在り方に関する検討を進め、市独自の計画策定についても検討していく。					
	意見						

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

担当課 企画振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 1. 住みよいまちの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 4-①-5 石川中央都市圏連携事業の推進

④ 予算事業名 (PLAN) 企画調整事業 2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 平成28年3月に石川中央都市圏で策定した圏域ビジョンを着実に実行し、高次都市機能の集積・強化と広域活用、圏域の経済成長の促進、圏域全体での生活関連機能サービスの向上のための具体的な連携事業の企画立案、推進を行う。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 石川中央都市圏を構成する金沢市、白山市、野々市市、津幡町、内灘町との連携を深め、圏域全体での生活関連機能サービスの向上に向け、地域公共交通網の検討や地方創生SDGsに関する取り組みなど、具体的な連携事業を実施した。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
連携事業数	目標		15	16	17	18	19	—
	実績	14	21	21				

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	100	100	100			300
	うち一財	100	100	100			300
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,680	1,847	1,293			4,820
	うち一財	1,620	1,773	1,235			4,628
	総事業費(A+B)	1,780	1,947	1,393	0	0	5,120
	うち一財	1,720	1,873	1,335	0	0	4,928
決算	一般財源割合(%)	96.6	96.2	95.8	#DIV/0!	#DIV/0!	96.3
	A. 事業費	0	100				100
	うち一財	0	100				100
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,881	1,798				3,679
	うち一財	1,816	1,749				3,565
	総事業費(A+B)	1,881	1,898	0	0	0	3,779
	うち一財	1,816	1,849	0	0	0	3,665
	一般財源割合(%)	96.5	97.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	金沢市を中心市とした周辺4市2町で連携を密にし、圏域の強みである住みやすさに磨きをかけるための連携事業を展開する必要があるため。
対応方針	令和3年度から推進している「第2期石川中央都市圏ビジョン」に基づき、本市から提案している新規事業の実施や他市町提案の新規事業実施など、相互に協力しながら圏域の魅力を向上させ、圏域住民が安心して快適な暮らしを営むことができる圏域の形成を目指す。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 健康福祉課、長寿介護課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 2. 市民の健康と生きがいの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 4-②-1 市民の健康づくりと「健康なまち」づくり基盤の整備

④ 予算事業名 (PLAN) 健康づくり事業 4-1-2 (3-1) 地域介護予防活動支援事業 3-1-2 (2-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 運動不足を解消することにより、生活習慣病やロコモティブシンドローム（運動器症候群）、フレイル（虚弱）の予防を推進し、健康寿命の延伸を図る。
かほくにはおんWAONカードを活用し、健康ポイントを付与するか歩く健康ウォーキング事業、健康ポイントラリーをはじめとした健康づくり事業を産官学連携のもと実施するとともに、安全なウォーキングロードの整備など、歩きたくなるまちづくりに向けたウォーキング事業を展開する。

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
・30歳以上の市民を対象とした活動量計及びいしかわスポーツマイレージを活用したウォーキング事業を実施。参加者：354人（1日6,000歩以上の方は52.8%）かほくにはおんWAONカードに歩数に応じた健康ポイントを付与。
・ウォーキングの推進にあたり新たに坂道コースを設定し、ウォーキングコース3か所のマップを作成。
・健康づくりに自ら取り組む市民の増加のため、看護大連携のもと、スモールチェンジについて効果検証を行った。
・産官学連携のもと、健康レッスン等の参加により健康ポイントを付与した。計292人参加し、164人にポイントを付与。
・かほくブラチナ筋力アップ体操を週1回以上実施する38グループに対し、体操指導や体力測定、健康講話などの支援を行った。
またグループの世話役を務める介護予防サポーターの養成講座を2回コースで実施し31名が参加し、介護予防サポーターの知識や技術の向上を図るフォローアップ講座を開催し25名が参加した。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
6,000歩/日以上に達した人の割合	目標		72.0%	72.5%	73.0%	73.5%	74.0%	—
	実績	71.5%	53.4%	52.8%				

	目標							
	実績							

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	予算	A. 事業費	9,099	7,487	8,608		25,194
		うち一財	5,939	1,640	4,992		12,571
		B. 管理費(人件費・事務費)	20,482	18,435	18,033		56,950
		うち一財	18,200	16,041	13,375		47,616
		総事業費(A+B)	29,581	25,922	26,641	0	82,144
		うち一財	24,139	17,681	18,367	0	60,187
	決算	一般財源割合(%)	81.6	68.2	68.9	#DIV/0!	73.3
		A. 事業費	2,234	4,515			6,749
		うち一財	2,143	3,090			5,233
		B. 管理費(人件費・事務費)	12,784	15,238			28,022
		うち一財	11,905	13,535			25,440
		総事業費(A+B)	15,018	19,753	0	0	34,771
		うち一財	14,048	16,625	0	0	30,673
		一般財源割合(%)	93.5	84.2	#DIV/0!	#DIV/0!	88.2

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)	方針	1:拡充 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	理由	幅広い世代で運動に取り組む市民の増加を促し、引き続き「健康なまち」づくりを進める必要がある。
	対応方針	これまでの事業や活動を継続して実施・支援していくとともに、新たに18歳以上の市民を対象とした「健康づくりポイント事業」を実施するなど、更なる健康づくり体制の充実を図る。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)	方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	意見	

担当課 長寿介護課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 2. 市民の健康と生きがいの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 4-②-2 高齢者の生きがいづくり環境の整備

④ 予算事業名 (PLAN) 老人福祉施設管理費 3-1-3(10-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 高齢者向けの各種講座を開催し、元気な高齢者の活動を支援することにより、元気な高齢者の増加を目指すとともに、スキルを持った高齢者の活躍の場の創出や高齢者の生きがいづくりを推進する。また、各地区にある老人福祉センターの中長期の管理計画を策定し、高齢者の生きがいづくりの環境の整備を図る。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) ・老人福祉センターの中長期の管理計画を策定した。
・各老人福祉センターを60歳以上のかほく市民に開放し、入浴事業等を行った。
・各老人福祉センターにおいて各種生きがい教室（手芸教室・書道教室・大正琴教室・カラオケ教室・絵手紙教室・園芸教室等）を開催し、元気な高齢者の活動を支援（計34回 244人参加）

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
介護保険事業計画の介護認定見込率(要介護認定者/第1号被保険者)の割合を100%としたときの短期目標値	目標		97%	97%	97%	97%	97%	—
	実績	97%	94.9%	103.6%				

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	108,266	38,210	40,530			187,006
	うち一財	37,285	37,634	39,954			114,873
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,804	4,619	5,227			14,650
	うち一財	4,028	3,736	4,468			12,232
	総事業費(A+B)	113,070	42,829	45,757	0	0	201,656
	うち一財	41,313	41,370	44,422	0	0	127,105
一般財源割合(%)		36.5	96.6	97.1	#DIV/0!	#DIV/0!	63
決算	A. 事業費	98,062	30,975				129,037
	うち一財	34,633	30,962				65,595
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,549	4,565				9,114
	うち一財	3,700	3,791				7,491
	総事業費(A+B)	102,611	35,540	0	0	0	138,151
	うち一財	38,333	34,753	0	0	0	73,086
一般財源割合(%)		37.4	97.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	52.9

⑨ 令和4年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	各老人福祉センター等でやっている入浴事業では多くの方に利用していただいている。外に出るきっかけとなるため、そのきっかけづくりの場の提供と各種講座の開催は必要である。
対応方針	各老人福祉センターにおいて、再開されている生きがい教室もあるが、まだ再開していない教室もある。コロナとうまくつきあいながら活動できる環境整備を進める。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 健康福祉課（産業振興課）

◇かほく市創生総合戦略推進計画（総合戦略）の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 2. 市民の健康と生きがいの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 4-②-3 障害者の暮らしの安全と生きがいづくり

④ 予算事業名 (PLAN) 障害者自立支援給付費 3-1-2 (21-1) 勤労者対策事業 5-1-1 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 障害者が地域で自立した生活ができるよう関係団体等との連携強化を図り、包括的なケアシステムを構築する。

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

障害者の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ対応、専門性、地域の体制づくり）のサービス提供体制を構築するため、地域生活支援拠点等の整備にむけた検討会を2回実施した。また、障害者の就労支援として、市内福祉就労支援事業所の連絡会を9回実施した。

また、国の「障害者トライアル雇用」制度を活用後も当該労働者を継続雇用する市内事業者に対して奨励金を上乗せ交付することとしており、制度創設後初めての交付実績があった。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・ かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
障害者の就労者数(福祉サービス)	目標		54	57	60	63	66	—
	実績	41	46	43				
障害者トライアル雇用奨励金利用件数	目標		3	3	3	3	3	15
	実績	0	0	1				0

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費		670,123	657,591	676,844			2,004,558
		うち一財	186,667	176,851	188,341			551,859
	B. 管理費(人件費・事務費)		23,610	24,773	36,861			85,244
		うち一財	21,884	22,862	24,217			68,963
	総事業費(A+B)		693,733	682,364	713,705	0	0	2,089,802
		うち一財	208,551	199,713	212,558	0	0	620,822
一般財源割合(%)			30.1	29.3	29.8	#DIV/0!	#DIV/0!	29.7
決算	A. 事業費		737,938	769,162				1,507,100
		うち一財	207,472	211,709				419,181
	B. 管理費(人件費・事務費)		26,716	23,084				49,800
		うち一財	24,894	22,141				47,035
	総事業費(A+B)		764,654	792,246	0	0	0	1,556,900
		うち一財	232,366	233,850	0	0	0	466,216
一般財源割合(%)			30.4	29.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	29.9

⑨ 令和4年度以降 の方針 (CHECK・ACT)	方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	理由	昨年度、地域生活支援拠点等の整備について「相談支援体制と緊急受入・対応」の整備を実施したが、令和4年度は、運用上の問題点等がないかを検討していく必要がある。また、その他の機能「体験の機会・場、専門的人材の確保、地域の体制づくり」の整備にむけて検討を進め、事業者の積極的な障害者雇用を後押しするためにも継続する必要がある。
	対応方針	指定事業所や市商工会、ハローワーク等と連携して現状やニーズを把握し、市広報等を通じて事業者へ向けた制度の周知を行うとともに障がいのある方への周知も図っていく。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)	方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	意見	

担当課 スポーツ文化課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 3. スポーツ文化の創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 4-③-1 かほく市総合体育館の整備を核としたスポーツ環境づくり

④ 予算事業名 (PLAN) かほく市総合体育館(仮称)整備 事業 10-5-2 (8-1) 体育施設長寿命化事業 10-5-2 (1-1) 体育施設維持管理事業 10-5-2 (2-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 競技スポーツ・プロスポーツのニーズにも応えることのできる高い機能を有する施設であるとともに、すべての市民がスポーツに様々な形で関わり、交流できる拠点として総合体育館の整備を行い、周辺エリアの賑わい創出事業の展開も併せて検討する。
また、市内全体育施設のスポーツ環境の整備・充実も計画的に推進し、利用者への安心安全なスポーツ環境の提供を目指す。

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
・総合体育館整備については、優先交渉権者(かほくPFIアリーナ㈱)と事業契約を締結し、基本設計を終え、引続き実施設計を進めている。
・引続きモニタリング支援業務を行い、事業者の提案するサービス水準が契約に規定する水準に合致しているかなどを監視し、モニタリングを支援する外部アドバイザーと連携しながら設計や建設等の各段階において必要な確認等を行っている。
・長寿命化改修工事として、アクロス高松外壁・屋根等改修工事、宇ノ気南部体育館長寿命化大規模改修、うのけ総合公園陸上競技場3種更新工事を実施した。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
市内体育館の利用者数(千人)	目標		610	590	600	620	660	3,080
	実績	604(H30)	395	438				
市民(成人)の週1回以上のスポーツ実施率(%)	目標		60	60	65	65	70	—
	実績	—	78	49.5				

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	予算	A. 事業費	84,400	345,264	34,090		463,754
		うち一財	6,700	7,633	15,490		29,823
		B. 管理費(人件費・事務費)	9,075	8,366	5,952		23,393
		うち一財	7,156	7,946	5,649		20,751
		総事業費(A+B)	93,475	353,630	40,042	0	487,147
		うち一財	13,856	15,579	21,139	0	50,574
	決算	一般財源割合(%)	14.8	4.4	52.8	#DIV/0!	10.4
		A. 事業費	81,051	339,199			420,250
		うち一財	8,476	17,894			26,370
		B. 管理費(人件費・事務費)	10,321	8,356			18,677
		うち一財	7,989	8,042			16,031
		総事業費(A+B)	91,372	347,555	0	0	438,927
		うち一財	16,465	25,936	0	0	42,401
		一般財源割合(%)	18.0	7.5	#DIV/0!	#DIV/0!	9.7

⑨ 令和4年度以降 の方針 (CHECK・ACT)	方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	理由	スポーツ文化の拠点となるかほく市総合体育館の整備を遅滞なく進める。ハード整備だけではなく、地域の核、活性化の起爆剤となるようソフト事業とも連携して整備を進める。スポーツ施設の整備については、省エネルギー化やユニバーサルデザイン化に取り組むことで時代を担う施設とし、施設の長寿命化を図っていく。
	対応方針	引続き「スポーツの素晴らしさを実感できるスポーツ文化の拠点」となる総合体育館の整備を進め、低炭素、省エネルギー化事業として、宇ノ気体育センター、宇ノ気スポーツセンターのLED化事業に取り組む。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)	方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	意見	

担当課 スポーツ文化課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 3. スポーツ文化の創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 4-③-2 する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出

④ 予算事業名 (PLAN) 生涯スポーツ振興事業 10-5-1 (4-1) 各種大会事業 10-5-1 (6-1) かほく市スポーツコミッション推進事業 10-5-1 (10-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 地域のスポーツ機会を創出し、スポーツ振興や地域経済の活性化を図るため、「(仮)かほくスポーツコミッション」の設置を検討し、新たなスポーツイベントの開催、誘致等の活動を行い、スポーツ振興及びスポーツを核とした地域活性化の促進を図る。また、トップアスリートを発掘・育成・強化するため、指導者の育成と競技スポーツの強化について体系的かつ戦略的な支援を強化する。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO) ・「(仮)かほくスポーツコミッション」設立に向けた先進地視察、ワークショップによる検討等を行い、基本計画を策定し、スポーツ推進審議会等に対する意見聴取を実施した。
・全国大会へ出場する選手・監督等に対し激励費を支給した。⇒27大会、105人出場。
・全国高校総合体育大会等の激励会を開催した。
・公認審判員等の資格取得研修・登録費用の一部を助成した。⇒74人が公認審判員の資格を取得。⑦ 基本目標のKPI
(PLAN) ・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
かほくスポーツコミッションの設置	目標		—	—	1	1	1	1
	実績	—		—				0

全国大会等出場者への助成者数	目標		250	250	250	270	270	1,290
	実績	241(H30)	28	105				133

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	2,846	3,212	4,730			10,788
	うち一財	2,846	3,212	2,730			8,788
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,800	4,081	6,813			12,694
	うち一財	1,420	3,874	6,466			11,760
	総事業費(A+B)	4,646	7,293	11,543	0	0	23,482
	うち一財	4,266	7,086	9,196	0	0	20,548
決算	一般財源割合(%)	91.8	97.2	79.7	#DIV/0!	#DIV/0!	87.5
	A. 事業費	536	1,885				2,421
	うち一財	536	1,885				2,421
	B. 管理費(人件費・事務費)	2,048	4,074				6,122
	うち一財	1,585	3,921				5,506
	総事業費(A+B)	2,584	5,959	0	0	0	8,543
	うち一財	2,121	5,806	0	0	0	7,927
	一般財源割合(%)	82.1	97.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	92.8

⑨ 令和4年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	スポーツのもつ力を最大限に生かし、スポーツによるまちづくり、賑わい創出により地域の活性化を図る。
対応方針	スポーツによる地域活性化に向けた取組として、スポーツコミッションを令和5年度中に組織化し、事務局の設置を進める。総合体育館のオープン予定である令和6年4月の円滑な運用にむけ、具体的な組織案やアクションプランを策定する。

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 5. かほく市オンリーワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる

② 基本方針 1. かほく市の特色を活かした地域の活性化

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 5-①-1 北部交流ゾーンの賑わい創出

④ 予算事業名 (PLAN) 北部交流ゾーン活性化事業

⑤ 事業概要 (PLAN)

のと里山海道沿いに位置し、かほく市の玄関口として市の情報を発信している道の駅高松において観光情報の発信や特産物の紹介等を行うことにより、かほく市の知名度向上を図るとともに、各種交流事業や体験事業を開催するなど、北部交流ゾーンの賑わい拠点として、事業を展開していく。
また、将来的には「地域商社」として機能強化を図り、地域の特色を生かしたレクリエーション事業の展開や特産品販売などにより賑わいの創出につなげる。

⑥ 令和3年度
取組内容
(PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

- ・地域おこし協力隊を雇用し、北部交流ゾーン振興ビジョンの推進、「道の駅高松」地域商社化に向け、事業・特産品等の企画立案、関連機関との調整等を図る。⇒R3.11より契約社員を雇用し、地域商社化に向けた準備を実施した。
- ・R2年度に実施したトライアル事業に関し、事業化に向け取り組んだ。
- ・これまで検討してきた提案事業の事業化の可能性を検証を実施。
⇒大海かぶら寿司復興に向け、大海麴の製造やレシピの習得を実施。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN)

- ・西田幾多郎哲学館と道の駅高松の来訪者数 443千人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
道の駅高松 の入込客数	目標		380,000	387,000	394,000	401,000	408,000	1,970,000
	実績	370,889	268,692	242,788				511,480

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	3,600	3,970	5,390			12,960
	うち一財	3,600	3,970	390			7,960
	B. 管理費(人件費・事務費)	5,106	5,144	5,610			15,860
	うち一財	4,837	4,762	5,246			14,845
	総事業費(A+B)	8,706	9,114	11,000	0	0	28,820
	うち一財	8,437	8,732	5,636	0	0	22,805
一般財源割合(%)		96.9	95.8	51.2	#DIV/0!	#DIV/0!	79.1
決算	A. 事業費	3,300	3,911				7,211
	うち一財	0	0				0
	B. 管理費(人件費・事務費)	5,064	5,120				10,184
	うち一財	4,795	4,794				9,589
	総事業費(A+B)	8,364	9,031	0	0	0	17,395
	うち一財	4,795	4,794	0	0	0	9,589
一般財源割合(%)		57.3	53.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	55.1

⑨ 令和4年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	北部振興ビジョン実現化に向けた検証を継続し、道の駅高松を核とした地域商社化を進めていく。また、大海麴の製造を確立し、大海かぶら寿司存続に向けた製品の開発を進める。
対応方針	地域商社準備室を中心に、地域経済還流型事業の展開や特産品販売などを通じ、地域との連携を図りながら北部の賑わい創出・地域活性化を目指す。

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 企画振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 5. かほく市オンリーワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる

② 基本方針 1. かほく市の特色を活かした地域の活性化

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 5-①-2 南部交流ゾーンの広域商業機能や交流機能の集積・強化

④ 予算事業名 (PLAN) 企画調整事業 2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 広域商業機能や交流機能のさらなる集積・強化に向け、うみっこらんど七塚や石川県西田幾多郎記念哲学館との連携も視野に、市民の消費活動の利便性を高めるとともに関係人口の創出に繋げる。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 既存公共施設の機能強化に取り組むとともに、それらと組み合わせた南部交流ゾーンの賑わい創出に向け、関係人口の創出につながる施設の誘致等に取り組む、引き続き民間開発事業者等への情報提供を進めた。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・石川県西田幾多郎哲学館と道の駅高松の来訪者数 443千人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
市内観光入 込客数	目標		640,000	655,000	670,000	685,000	700,000	3,350,000
	実績	635,624	429,500	388,404				

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	2,000	0	0			2,000
	うち一財	2,000	0	0			2,000
	B. 管理費(人件費・事務費)	889	978	216			2,083
	うち一財	857	938	205			2,000
	総事業費(A+B)	2,889	978	216	0	0	4,083
	うち一財	2,857	938	205	0	0	4,000
決算	一般財源割合(%)	98.9	95.9	94.9	#DIV/0!	#DIV/0!	98
	A. 事業費	1,430	0				1,430
	うち一財	1,430	0				1,430
	B. 管理費(人件費・事務費)	996	1,199				2,195
	うち一財	961	1,166				2,127
	総事業費(A+B)	2,426	1,199	0	0	0	3,625
	うち一財	2,391	1,166	0	0	0	3,557
	一般財源割合(%)	98.6	97.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.1

⑨ 令和4年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	南部交流ゾーンの賑わい創出に向け、引き続き企業誘致及び既存公共施設等の機能強化に取り組む必要があるため。
対応方針	経済状況や企業の進出ニーズを注視し、情報収集に努めるとともに、商圈調査における分析結果等を基に、各企業に対し積極的に情報提供を行っていく。

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	

担当課 生涯学習課（哲学館）

◇かほく市創生総合戦略推進計画（総合戦略）の体系

① 基本目標 5. かほく市オンリーワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる

② 基本方針 1. かほく市の特色を活かした地域の活性化

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 5-①-3 西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発

④ 予算事業名 (PLAN) 西田記念哲学館管理運営事業 10-4-6 (3-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 全国の大学との連携や研究会の開催、西田幾多郎哲学講座や各種事業等の開催、共通道徳によるふるさと教育等を通じて、哲学を担う人材・地域を担う人材の育成を図ると共に西田哲学及び哲学館の普及・啓発を図る。
また、収蔵品管理システムの利便性向上を図り、「電子資料館」として広くPRするとともに、外国人来館者等への対応の充実を図る。

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
①西田幾多郎哲学講座 ⇒8回、延べ312人 ②寸心読書会 ⇒前期3回／後期7回、延べ222人
③共通道徳の実施（見学／哲学対話）⇒市内全小学5年生、中学2年生対象
④哲学カフェの開催 ⇒映画上映＋哲学カフェ／本の展示会＋哲学カフェ
⑤顕徳会事業の実施 ⇒小学生の書道展を開催。夏期哲学講座、全国吟詠大会は中止。
⑥収蔵資料の修復及び翻刻 ⇒ノート4冊、レポート59点の翻刻作業完了。展示公開用レプリカ作製。
⑦収蔵品管理システムの充実 ⇒デジタル撮影業務、調査・整理業務を実施。
⑧企画展と関連イベントの開催 ⇒前期（延べ2,604人）＋講演会、青空講座／後期（延べ3,661人）＋朗読と座談会。
⑨研修受入れ・出前講座 ⇒受入：8回、147人（金沢大、星稜大学等）、出前講座9回、1,190人（二水高校、南砺市等）

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・西田幾多郎哲学館と道の駅高松の来訪者数 443千人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
哲学館の 利用者数	目標		30,000	32,500	32,500	35,000	35,000	—
	実績	28,060	18,806	18,939				—

	目標							
	実績							

		年度:単位(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	予算	A. 事業費	100,758	65,817	69,225			235,800
		うち一財	71,701	54,791	53,188			179,680
		B. 管理費(人件費・事務費)	53,168	60,556	51,496			165,220
		うち一財	51,121	58,351	48,330			157,802
		総事業費(A+B)	153,926	126,373	120,721	0	0	401,020
		うち一財	122,822	113,142	101,518	0	0	337,482
		一般財源割合(%)	79.8	89.5	84.1	#DIV/0!	#DIV/0!	84.2
	決算	A. 事業費	92,817	68,945				161,762
		うち一財	66,433	64,480				130,913
		B. 管理費(人件費・事務費)	59,228	49,706				108,934
		うち一財	56,947	48,396				105,343
		総事業費(A+B)	152,045	118,651	0	0	0	270,696
		うち一財	123,380	112,876	0	0	0	236,256
		一般財源割合(%)	81.1	95.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	87.3

⑨ 令和4年度以降 の方針 (CHECK・ACT)	方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	理由	利用者数は、各種研修受け入れや学校連携事業が再開したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で夏休み期間を含む1ヶ月半休館となったこともあり、前年比微増にとどまった。延期や中止を余儀なくされた事業もあったが、コロナ対策をとりながら新たな形式の企画展イベントを実施できた。今後も継続的に多様な企画・講座等の実施に取り組むことと情報発信の工夫が大切である。
	対応方針	令和4年度に開館20周年を迎える哲学館では、様々な記念事業を開催予定。この機会に各種メディア・ホームページ・SNSなどを積極的に活用して広く情報発信をし、コロナ禍で減少している利用者の増加へと繋る。

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)	方針	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	意見	

担当課 企画振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 5. かほく市オンリーワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる

② 基本方針 1. かほく市の特色を活かした地域の活性化

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 5-①-4 石川県立看護大学及び県内大学による地方創生推進事業

④ 予算事業名 (PLAN) 企画調整事業 2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 石川県立看護大学や金沢学院大学など県内大学と連携し、健康づくり事業等の展開や市の各種施策への提言及び参画、またそれらを通じた学生への学びの場の提供などを通じ、市と大学との協働によるまちづくり事業を推進する。

⑥ 令和3年度 取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
各大学との連携事業を実施し、それぞれの専門分野における提案等をまちづくり、地方創生に活かした。
・石川県立看護大学 市民の健康づくり事業
いきいきシニア活動推進事業
高齢者との交流事業 など
・金沢学院大学 インスタ映えモニュメント制作
「大好きにゃんたろう」CG版制作
食育SATシステムを活用した健康づくり事業 など

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・石川県西田幾多郎哲学館と道の駅高松の来訪者数 443千人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
社会増減数 (転入者数-転出者数)	目標		150	150	150	150	150	750
	実績	148	207	354				—

	目標							
	実績							

年度:単位(千円)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)	予算	A. 事業費	0	0				0
		うち一財	0	0				0
		B. 管理費(人件費・事務費)	1,483	1,629	1,221			4,333
		うち一財	1,429	1,564	1,166			4,159
		総事業費(A+B)	1,483	1,629	1,221	0	0	4,333
		うち一財	1,429	1,564	1,166	0	0	4,159
	一般財源割合(%)		96.4	96	95.5	#DIV/0!	#DIV/0!	96
	決算	A. 事業費	0	0				0
		うち一財	0	0				0
		B. 管理費(人件費・事務費)	1,661	1,270				2,931
		うち一財	1,602	1,234				2,836
		総事業費(A+B)	1,661	1,270	0	0	0	2,931
		うち一財	1,602	1,234	0	0	0	2,836
	一般財源割合(%)		96.4	97.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.8

⑨ 令和4年度以降 の方針 (CHECK・ACT)	方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
	理由	両大学との連携協定に基づいた連携事業を引き続き推進し、大学側が持つ専門的な知見をまちづくりに活かす必要があるため。
	対応方針	連携協定に基づく連携事業を引き続き推進する。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT) 方針 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

意見